

さやいんげん

農薬取締法上「さやいんげん」は「いんげんまめ」とは別の作物である。

「さやいんげん」には、「さやいんげん」「豆類（未成熟）」「野菜類」に適用のある農薬を使用すること。

————— 発病・加害時期
 ===== 発病・加害最盛期

作型・病虫害名		月											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
普	通				●		■						
炭疽病	痕かび病				—	—	—						
灰色かび病	ハダニ				—	—	—						
アブラムシ	マメハモグリバエ				—	—	—						

炭疽病（たんそびょう）

留意事項

1 QoI剤（**1 1**）は、耐性菌が出現しやすいので、1作1回程度の使用に努める。

防除方法

- 健全種子を用いる。
- ハウス栽培では換気を徹底する。
- 密植を避け、通風を図る。
- 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [ファンタジスタ顆粒水和剤](#) **1 1** 【2000倍 前日／3回】
 - ・ [ニマイパー水和剤](#) **1 1 0** 【1000倍 14日／3回】

灰色かび病

留意事項

- 発病適温は20～25℃である。
- アミスター20フロアブルは、薬害のおそれがあるため、浸透性を高める展着剤を加用しない。また、QoI剤（**1 1**）は、耐性菌が出現しやすいので、1作1回程度の使用に努める。

防除方法

- 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [セイビアーフロアブル20](#) **1 2** 【1000～1500倍 前日／3回】

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

- ・ [アミスター20フロアブル](#) 1 1 【2000倍 前日／3回】
- ・ [ニマイバー水和剤](#) 1 10 【1000倍 14日／3回】

さび病

留意事項

- 1 SDHI剤 (7) は、耐性菌が出現しやすいので、1作1回程度の使用に努める。

防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [アフェットフロアブル](#) 7 【豆類（未成熟、除えだまめ） 2000倍 前日／3回】
 - ・ [ハーモメイト水溶剤](#) NC 【野菜類 800倍 前日／－】

ウイルス病

留意事項

- 1 種子、アブラムシ類により伝染する。
- 2 シルバーポリフィルムでマルチングを行い、アブラムシ類の飛来を回避する。

防除方法

- 1 健全種子を用いる。
- 2 子葉展開時から有翅アブラムシ類の防除に努める。（アブラムシ類の項参照）
- 3 生育初期に寒冷しゃのトンネル栽培を行う。
- 4 除草を徹底する。

ハダニ類

留意事項

- 1 薬剤抵抗性が生じやすいので、同一系統薬剤の連用は避け、ローテーション散布を行う。

防除方法

- 1 乾燥するほ場では、十分かん水する。
- 2 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [ダニトロンフロアブル](#) 2 1 A 【1000～2000倍 前日／1回】
 - ・ [コテツフロアブル](#) 劇 1 3 【2000倍 前日／2回】
 - ・ [ニッソラン水和剤](#) 1 0 A 【2000倍 前日／2回】

アブラムシ類

留意事項

- 1 スタークル粒剤、アルバリン粒剤は同一成分ジノテフランを含み、総使用回数は

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

3回以内（但し、株元散布は1回以内、散布は2回以内）

防除方法

- 1 シルバーポリフィルムでマルチングする。
- 2 下記の薬剤を施用する。
 - ・ [アドマイヤー1粒剤](#) 4 A
【1～2g/株（但し、6kg/10aまで） 植穴土壌混和 定植時又はは種時/1回】
 - ・ [スタークル粒剤](#)、[アルバリン粒剤](#) 4 A
【9kg/10a 株元散布 生育期（14日）/1回】
- 3 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [ウララDF](#) 2 9 【2000～4000倍 前日/2回】
 - ・ [コルト顆粒水和剤](#) 9 B 【4000～6000倍 前日/3回】
 - ・ [アディオン乳剤](#) 3 A 【3000倍 14日/3回】
 - ・ [モスピラン顆粒水溶剤](#) 劇 4 A 【2000～4000倍 前日/3回】
 - ・ [エルサン乳剤](#) 劇 1 B 【1000～2000倍 7日/1回】

マメハモグリバエ

留意事項

- 1 パダンSG水溶剤は、眼に刺激性があるので眼に入らないように注意する。

防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [アファーム乳剤](#) 6 【ハモグリバエ類 2000倍 前日/2回】
 - ・ [カスケード乳剤](#) 1 5 【2000倍 前日/2回】
 - ・ [パダンSG水溶剤](#) 劇 1 4 【1500倍 前日/3回】
 - ・ [アディオン乳剤](#) 3 A 【ハモグリバエ類 3000倍 14日/3回】

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。